

経済安全保障がもたらす新たな秩序

鈴木一人

東京大学公共政策大学院

k.suzuki@pp.u-tokyo.ac.jp

経済安全保障とは

- 経済安全保障の定義
 - 「経済的手段による他国からの圧力や圧迫に対して対抗しうる能力を構築すること」
 - 経済安全保障は国家の経済秩序、社会秩序を守るための手段
- 経済安全保障が目指すべきもの
 - 「戦略的自律性」→どこまでのコストをかけ、どこまで自由貿易原則と折り合いをつけるか
 - 「戦略的不可欠性」→世界で唯一無二の産業となっても、政治的思惑で振り回されることにならないか
- 経済安全保障の焦点
 - 何を、どのような脅威から、どのような手段で守るのかを明確にする
 - 「ルールに基づく国際秩序」の原則と折り合いをつけ、Small Yard, High Fenceを目指す

経済安全保障と経済的合理性

- 経済安全保障は「安全保障」→政治的・戦略的合理性に基づく政策
- 経済的合理性と戦略的合理性
 - グローバル経済は経済的合理性によって拡大していく
 - 経済的な合理性は全ての国の利益になる→政治は経済に介入しないという前提
 - 相互依存の強化は「罨」となり、戦略的な合理性の「手段」となり得る
 - 経済安保とは経済的合理性と戦略的合理性のバランスや強弱を巡る問題
 - 経済安保においては企業の論理と政府の論理が必ずしも合致しない
- Small Yardの設定は可能か
 - 米国の対中半導体輸出規制の強化などに見られる措置はあっても米中経済は継続
 - 「それはそれ、これはこれ」という割り切り→相互依存であることは相互に認識
 - 経済安全保障と技術優位性の維持→相互に「戦略的不可欠性」の維持を目指す